

令和4年度 すぎと町民大学第12回
「東日本大震災被災地に学ぶ 現地研修 ②」

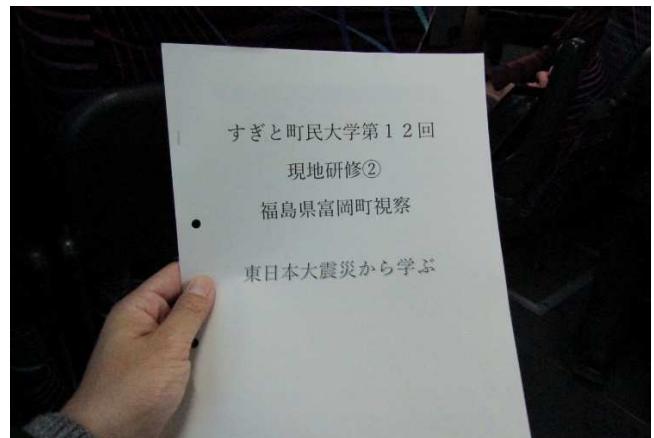
令和4年12月18日(日)に、現地研修②として、福島県富岡町を視察しました。平成22年11月に杉戸町は富岡町と国内友好都市の提携をしましたが、そのわずか4か月後に東日本大震災が発生しました。その発生から、12年の歳月が流れました。

現地研修当日は、富岡町の職員から、震災当日や現在の富岡町の様子について説明を受けました。新しく生まれ変わった町の様子やまだ戻れない帰宅困難区域の厳しい様子等を目の当たりした受講生からは、「震災について記憶を風化させてはいけない。」等の感想が聞かれました。

【富岡町職員 畠山さんから説明を受ける】



【当日のパンフレット】



【学びの森で話を聞く受講生】



【バスの車窓から帰宅困難区域を見る】



【バスの車窓から】



【とみおかアーカイブスミュージアムでの見学】

